

一般質問・質疑

2月26日、29日、3月1日の本会議では、まず5人の議員が会派を代表して質問を行った後、15人の議員が一般質問に立ち、乳幼児健診時に絵本を贈るブックスタート事業や市民活動支援の今後などについて、市の見解を求めました。

なお、一般質問の発言者と質問項目の一覧は下段に、主な内容は4面から6面に掲載しています。(代表質問の発言者と質問項目、その内容は2・3面に掲載)

発言者一覧

— 発言順 — () は会派名

楠本美紀(日本共産党)

①子ども・子育て ②介護保険施策

尾仲利治(民主連合)

①平成29年度に保育所の待機児童ゼロを実現すること ②児童生徒が生き生きと学ぶことができる環境づくり ③明石市に文化芸術は根づいたか

穂原成人(真誠会)

①生産緑地制度 ②空き家対策 ③小中学校の教育

国出拓志(公明党)

①夜間休日応急診療所の診療科目に歯科を設けないか ②デマンド型乗合タクシーを市内に導入しないか ③災害時に避難所となる小・中学校の敷地に井戸を掘らないか

丸谷聡子(未来創造明石)

①市民活動の支援 ②花と緑の学習園を活用した環境教育の推進 ③(仮称)こども総合支援条例の策定 ④明石市立就学前教育・保育施設再構築基本計画(案)

永井俊作(市民クラブ)

①障がいがある職員が働き続けられる市役所づくり ②市民文化活動並びに生涯学習 ③明石市新総合事業の介護予防・生活支援サービス事業 ④学校給食の公会計への転換 ⑤明石市立就学前教育・保育施設再構築基本計画(案)と待機児童ゼロ

遠藤恒司(自由民主党)

①新年度予算執行にかかる基本的な考え方 ②市役所庁舎の建て替えの考え方 ③財政健全化の取り組み ④市職員の中途採用 ⑤社会的に弱い立場の子どもと高齢者の貧困

家根谷敦子(スマイル会)

①ヘルプマークとヘルプカード ②身体障害者補助犬 ③高齢者の社会参加促進

坂口光男(真誠会)

①平成27年度補正予算案及び28年度予算案にみる明石市のまち・ひと・しごと創生総合戦略の内容・取り組み

梅田宏希(公明党)

①動物と共生する愛情豊かなまちづくり ②ふるさと納税 ③大久保町北部の交通政策

寺井吉広(真誠会)

①市街化調整区域等の有効活用と見直し ②依存症対策

松井久美子(公明党)

①本のまち明石の推進 ②男女共同参画課における女性の活躍推進事業及び結婚総合支援事業

井藤圭湊(真誠会)

①市制施行100周年・明石城築城400年に向けた取り組み ②(仮称)更生保護フェア ③たこリンピックの開催の取り組み

佐々木敏(公明党)

①がん検診受診率向上に向けて ②ジェネリック医薬品の推進 ③広報あかしの配布方法

北川貴則(市民クラブ)

①福祉の充実 ②住むところと働くところづくり ③市東部地区のたこバス

4カ月健診時に絵本を贈る ブックスタート事業 読み聞かせのアドバイスも

問 乳幼児健診時に絵本を贈るブックスタート事業が平成28年度から始まるが詳細を聞く。

答 これまでは母子手帳交付の際に推奨の絵本をリストにした小冊子を渡してきたが、28年度に明石駅前再開発ビル内の市民図書館やこども健康センターが完成した後は、4カ月健診の機会に小冊子に加え絵本を贈る事業を予定している。具体的な方法は検討



絵本を通じて愛情を育む

中だが、絵本に加えブックスタートの趣旨を記したメッセージ、子育てのパンフレットなどを入れた袋をブックスタートパックとして渡すとともに、図書館職員による読み聞かせに加え、家庭での読み聞かせのアドバイスを

行うことも考えている。また、全員に同じ絵本を配付するのではなく、リストから選べるようにして、子どものために絵本を選ぶ楽しみを保護者が知り、愛情を育めるような取り組みを考えている。

市庁舎建て替え 50年後を見据えた検討 平成28年度末に基本構想策定へ

問 市役所の建て替えについて市の考えを聞く。

答 現在の市庁舎は、建設後45年が経過し、耐用年数とされる50年が迫っている。耐震補強をしても、建物の延命

化にならないことから、建て替えの方向で考えている。

市庁舎は建設されれば50年間は使用され、市民サービスとまちづくりの要となることから、自治体が集まってもらい一層充実させていきたい。そして、タコの魅力をより広く発信するためにも、明石だけでなくタコで有名なまちでの開催についても働きかけていく。

市の障害者採用 サポート体制を整え 一層の雇用拡大へ

問 本市は障害者の採用を実施しているが、対象の職員が働く環境づくりやサポート体制等について聞く。

害の状況に応じた多様な働き方が選択できるよう、職種や勤務時間を複数設定している。また、新規採用職員に対する職場でのサポート体制としては、指導職員を選任し個別で指導するほか、人事担当が本人や所属長などとも面談を行い情報共有しながら育成に取り組んでいる。就労状況の検証については、採用

後に障害の状態や職場環境が変化することもあるため、所属長をはじめ本人からの聞き取りを行い、どのような措置が必要かを確認し、適切に対応していく考えだ。

問 本年、明石で開催予定のたこリンピックについて聞く。

答 明石ダコのさらなる魅力発信と市内への来訪者増を目指し開催するイベントとして、タコの産地やタコにゆか

りのあるまちへ呼びかけ、タコ料理やタコを生かしたまちづくりなど、全国各地のタコ自慢を本市で練り広げてもらおうよう検討している。明石ダコの旬が夏であることやリオオリンピックが8月に開幕することから、その直前に開催することでマスコミにも広く取り上げてもらえると考えている。

問 高齢者パスポート制度やシニア活動応援事業など、平成28年度に予定している高齢者の社会参加促進に向けた取り組みについて聞く。

答 高齢者パスポート制度は、現行の高年手帳に代わるものとして、パスポートを提示することで、現在、半額で利用できる天文科学館や文化博物館を無料で利用できるようにするほか、買い物や飲食な

全国のタコ自慢が集結 明石でたこリンピック 平成28年夏に開催

また、この取り組みを一過性のものとし、次の年度以降はたこサミ



タコの祭典 in 明石

高年手帳に代えて 高齢者パスポート 社会参加を応援

ら、庁内に作業部会を設置し、50年後の明石の目指すべき姿を検討している。作業部会からは、日常生活が徒歩圏内で完結する地域を鉄道沿線に配置し、これらの地域にミニ市役所を設置するという都市ビジョンが提案され

ている。この提案内容を参考にしながら、新庁舎の在り方について、機能、規模、事業費、整備手法、スケジューリング、建設場所などの整理を行い、新庁舎建設基本構想を平成28年度末に取りまとめる考えだ。

どの際にさまざまなお店などで特典を受けられるようにするもの。また、シニア活動応援事業は、健康づくりや生きがいづくりの活動等を週1回以上実施するなどの要件を満たす団体や個人に対し、その運営に必要な費用の一部を補助するものだ。さらに、介護サポートーモデル事業として、一定の研修を受けた高齢者が介護保険施設などで配膳の介助補助などの活動を行う場合にポイントを付与し、そのポイントに応じて特典を受けられるようにすることも予定している。